

第5回分科会講演会（都市系）

はじめに

第5回目となる講演会を都市系分科会の主催で開催しました。都市系の研究課題の一つである都市防災。身近な生活環境に対する危険意識の高まる中、多くの参加者を迎えての講演会となりました。以下にその概要を紹介します。

日時；1月26日(金)13：30～16：00

場所；カデル2・7（中央区北2条西7丁目）

演題；(1)「阪神・淡路大震災の現地状況並びにその後の動向について」

建設部門 桑田 雄平 氏

(北海道開発コンサルタント(株))

(2)「札幌市の防災対策の取り組みについて」

堀 義文 氏

(札幌市消防局防災部)

(3)「神戸市の上下水道被災・復旧状況等について」

水道部門 高橋 徹男 氏

(日本下水道事業団北海道総合事務所)

参加者；51名

講演概要

(1)「阪神・淡路大震災の現地状況並びにその後の動向について」

建設部門 桑田 雄平 氏

桑田氏のご両親が被災しました。当時、札幌に自宅のある同氏にとって、ご両親の安否の確認、被災状況の把握、現地への移動、ご両親の元へそして大震災が神戸市街にもたらした悲劇的な爪痕。幸いにしてご両親が無事だったことに会場の参加者も安堵。

冒頭から、息もつかせぬ生々しい体験談でした。

引き続き、大震災後の復旧への行政の対応、復旧の状況・課題等資料を交えながら直面する多くの問題点についての言及がありました。資料には、体験談とともにこれらの貴重なデータが収められています。今後の分科会の活動に大きく寄与されることは間違いありません。

(2)「札幌市の防災対策の取り組みについて」

堀 義文 氏

「札幌市地域防災計画・緊急対策'95」策定の中心的役割を担われたのが堀氏です。

堀氏から緊急対策'95策定の経緯、関係部局との調整、今後の部局毎の防災対策の取り組み、さらには非常時の心得等について、お話をいただきました。

防災研究会としても、行政側の防災計画は大いに気になる所。その動向には目が離せません。

(3)「神戸市の上下水道被災・復旧状況等について」

水道部門 高橋 徹男 氏

都市系分科会の部会長あいさつということで、冒頭、高橋氏よりごあいさつがありました。

講演では、阪神・淡路大震災で壊滅的打撃を受けた神戸市の東灘下水処理場を中心にライフラインの被災状況をOHPを用いながら紹介いただき、又、水道を一例にライフラインの損傷に対する、時間経過に伴う応急、復旧対策のあり方について貴重な提言をいただきました。

さらに札幌市の上下水道ネットワークの現状と課題についての紹介がありました。

*講演会資料に関するお問い合わせ

札幌市下水道局 近藤 (211-2762) まで